

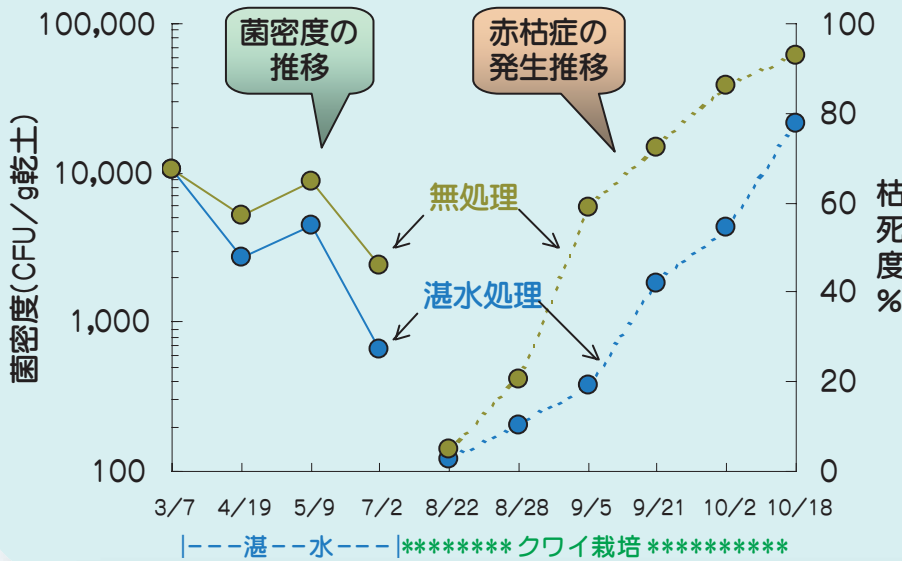
地域特産野菜クワイの連作障害対策

日本一の生産量を誇る地域特産物のクワイに、連作障害である赤枯症(フザリウム菌による株の枯死や塊茎腐敗)が発生し問題になっています。そこで、湛水処理や残渣処理等の耕種的手段による防除効果を明らかにしました。



フザリウムによる赤枯症

● 耕種的防除



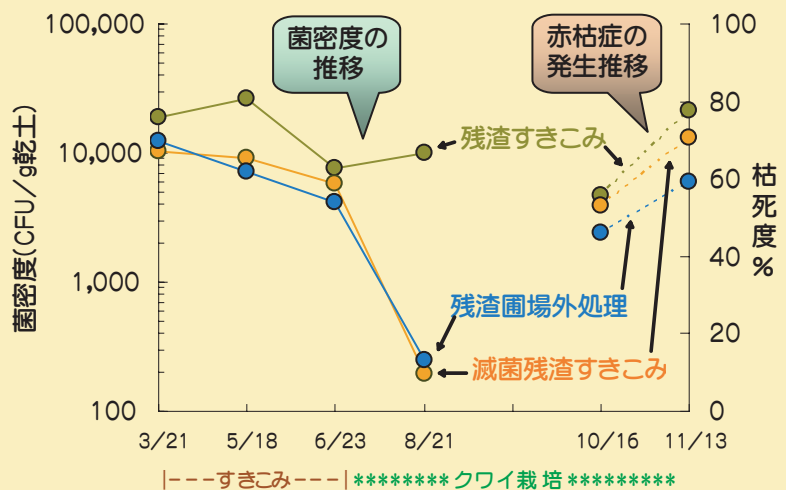
湛水処理
4ヶ月間、湛水することで植付前のフザリウム菌密度を減らし、赤枯症の発生を抑えます。

残渣がフザリウム菌の伝染源や増殖源となります。



残渣処理

残渣を圃場外で適切に処理することで、赤枯症の発生を抑えます。



● 農薬による防除 : 現在、ベンレートT水和剤による種球消毒の農薬登録取得にむけた防除効果試験、農薬残留試験を実施中です。

